

国保とわたしたち 35 老人と健康



お医者さんにかかるコツ

年をとってくると、いちはば 年気になることは病気です。 年をとるに従い異常なこころがでてくるものだから医者 にかかると割合も多くなりま す。

これは、いたしかたのない ことであり、当然のことでも あります。

しかしいちはば大切なこと として、早く発見して早い うちに治すことができるので す。

は、からだの異常を早く発見 して、先手を打つことです。 そのため健康に注意し て異常に気がついたときには すぐ医者にみてもらうことも 大切ですが、それよりも定期 的にみていただくことも必要 ですので、早くてよく知って いるものではないかと。

△医師の指示、指導をよく守 ること

お医者さんに行けば気がす むという方もいるようです。 それでは多忙なお医者の方 が迷惑です。

かかりつけのお医者さんは あなたのことによく知ってい ますから三日にあげず通つ

△自分の健康は自分で守ると いう態度と医師を信頼すれば お医者さんは全力をあげてあ なたを守ってくれます。

▽くすりが必要なのは、けし くすりが多いからというわけ ではありません。

（内容）

○貧血予防のための料理

○変り厚焼卵

○ほうれん草とサケの酢醬 油和え

○中華丼

申込みは9月6日（土）ま でに役場町民生活課へ。（30 名で締切らせて頂きます）

※参加費は無料ですが、エプ ソン・フキンを持参して下さい。

す。とはいいながら次のような ことは改めたいものです。

▽お医者さんを次々にかえな ないこと

あの医者この医者となつて とお医者さんを渡り歩く人が います。お医者さんはこの人 と決めてくつき合はないと治 療効果があがりません。おも かせること、正しい治療 を受けることができるので す。

料理講習会が 開かれます

食生活改善推進委員主催に よる料理講習会が開かれます ので御参加をお待ちしてお ります。

9月9日（火）

午後7時より

中央公民館（調理室）

戸籍とは一人一人について 出生から死亡までの重要な 身分事項を登録し、これを 証明する公文書です。

一組の夫婦と氏を同じくす する子で成り立ち、子が結 婚すると、親の戸籍から別 れて新しい戸籍がつくられ ます。このように身分事項 の異動が生じると必ず必要 な手続きです。

本籍…戸籍のおいてある ところで、戸籍の最初に記 載されています。本籍は現 住所と必ずしも同一でなく てもよいのです。

筆頭者…戸籍の最初に記載 されている人で婚姻の際夫の 氏を称したときは夫に、妻の 氏を称したときは妻が筆頭者 となります。亡くなっても変 りません。

本籍…戸籍原本ののって いる全員を写したものです。 抄本…戸籍原本の必要な だけ写したものです。

出生届…生まれた日から十 四日以内、届出は現住所、 本籍地へ出すときは一通、そ の他は二通必要です。その他 に母子手帳、国保の保険証、 印鑑を持参して下さい。

婚姻届…届出するところは 出生届と同じです。

当町と同じ籍のある人どうし の婚姻は届出書と印鑑だけで いか、他町村へお嫁に行く と、お嫁さんからお嫁さん、又 はお婿さんを迎えようとか、 いろいろなケースにより手続 きが違いますので、お問い合わ せて下さい。

死亡届…七日以内に届け出 をし、当町に本籍のある場合 は一通、その他は二通必要で す。その際、国保の保険証、 国民年金手帳、老人医療費受 給者証、印鑑手帳、印鑑を持 参して下さい。又、同時に火 葬許可証を出しますので、手 数料として十四才以上二〇〇 〇円、未満が一五〇〇円必要 です。

転籍届…当町内で本籍を交 える場合は夫婦で署名押印し た届書一通、他町村へ移す場 合は同居書二通と戸籍謄本 二通が必要です。

◎他にいろいろの届け出が ありますが、手続きその他 については係におたずねく ださい。

次号は住民異動届と手数料 についてお知らせします。

（役場住民課）

ゆりかごから墓場まで 戸籍の手続き

町史より



坂井瀬兵衛と 与次兵衛

近くでは矢代田村郷土新田 助八が召出されて矢代田村名 主となつたのが前者の例で、 新田家は後「新井田」と姓を 改め、後年大面組・加茂組大 庄屋と転じ、最後は赤濱組大 庄屋となる。後者の例として は、加賀国江沼郡小柳村の郷 土士渡川五右衛門が、秀勝に從 つて越後に来たり、代々大郷 村の名主となる。阿賀北のあ の市島家は、祖・弥惣右衛門 が、大聖寺より北浦五十公野 へ移った側用人であった。

市島家は後年あのような巨 大な大地主になったが、世襲 制ではあるが地主・庄屋の道 はきびしく、藩主の命により いつでも栄転・御役召し上げ 關所・追放等をも余儀なくさ れ、その消長ははげしかった。 では坂井家はどうか。

左の系譜表は、太右衛門新 田「坂井家系図」・新津市立 図書館小泉文書「坂井家由緒 書」・大郷村誌「鶴森組庄屋 坂井家由緒」を合わせて筆者 が作成したものである。

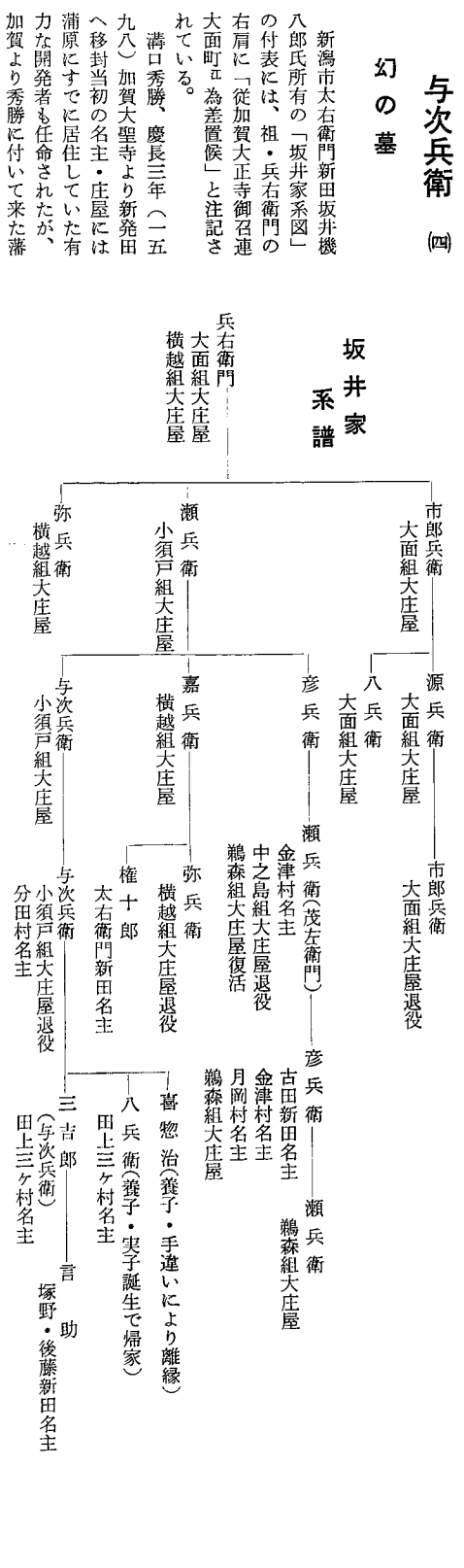
徳川時代は約二百年の間に 蒲原の所々に、坂井家の一大 集団が大庄屋・名主の座に栄 光と衰退の道をたどつた。小 須戸組大庄屋であった瀬兵衛 と二人の与次兵衛の時代も、 その一コマであり、それは正 保より享保の間の、ほぼ九〇 年間のことであった。

二代目瀬兵衛は「小須戸最 寄にて百姓共騒動に及び小頭 仁右衛門自殺仕り候刻(とき) 瀬兵衛吉次取り静め方仰せ付 けられ平治仕り則新津組分け 小須戸組と相成り庄屋役仰 せつけられ罷在り候」とあ

り、四代与次兵衛に至り「退 門は面の東山寺に葬られた というのが、創建者瀬兵衛以下 のほとんどの仏はここに葬ら れたであろう。最もの実力者 であり不遇の与次兵衛はもち ろん、かの与次七騒動で中之 島組大庄屋を失脚し、後再び 鶴森組大庄屋に復活する茂左 衛門も、また金津村名主で石 油を採掘した彦兵衛もここに 葬られたのではなかつたか。

墓地の右手奥の上記の写真 が最も古いというが、どれは どの年代のものか。川傍の町 にいつまでも静かに眠るこの 墓は、はたして誰の墓か。寺 も焼けた史料も焼失した今は、 幻の墓としてその真実を知る ことはもうできない。

坂井家系譜



献血にご協力をお願いします

移動採血車「ゆうあい号」がきます

とき 9月17日（水）

ところ 役場前 加藤製作所前

AM 10:00~12:00 PM 1:00~3:00